

希望者は全員

単位認定ボランティアへ!

Let's /
フィールドワーク!

希望者は全員

自治体インターンシップへ!

大阪成蹊大学 経営学部 経営学科

公共政策コース

大学は人生の「最終ゴール」ではありません。皆さんは、将来何になり、何をしたいですか。

「生まれ育った地域や誰かの役に立つ人になりたい」「憧れている〇〇さんのような仕事をしたい」・・・

皆さんの夢を実現するために、公共政策コースは、オンリーワンの学びを提供します。

最近のトピックス

摂津市広報紙の特集記事を 学生が企画・作成

大阪府摂津市と連携して、自転車に乗る際にヘルメット着用をPRする広報紙のコンテンツの提案を学生が行いました。学生は、駅での目視によるヘルメット着用調査や小学生へのアンケート調査などを実施したうえで、「ヘルメットをおしゃれなアイテムにするなど情報発信していくことが必要」と市長に提言しました。その内容は、特集記事として、摂津市の広報紙(2023年10月号)に掲載され、市長は「提言をヒントに、ヘルメットの着用率を上げて市民の安全につなげたい」と評価されました。また、今回の摂津市との連携では、SNSを活用した建設部の認知度向上施策についても学生が企画しており、分析・調査・企画した内容の報告も行っています。



“JR吹田駅前の活性化ビジョン” コンテスト最優秀賞

JR吹田駅前の賑わい100周年を記念する「すいたライジングサン100イベント」の企画「ビジョンコンテスト～JR吹田駅前の活性化ビジョン～」に参加し、公共政策コースの学生が最優秀賞を受賞しました。

学生たちは、授業の中でフィールドワークを実施したうえで商店街活性化の提案をした経験を生かして、JR吹田駅前地区がこれからも100年続くことを見据えて、近未来のまちづくりを考えました。その中で、今後も子どもからお年寄りまで「住んで良かった・訪れて良かった」と思えるまちになるように、駅前広場の「芝生化」や自動運転の循環型AIバスの運行などを提案しました。

審査員の皆様からは、地域の課題分析が論理的であること、地域の課題を解消する具体的なアイデアであることなどが、高く評価されました。

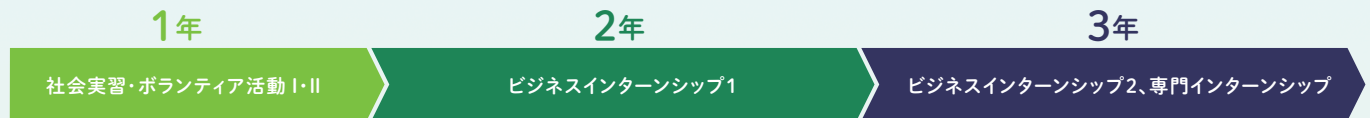


大阪成蹊大学
OSAKA SEIKEI UNIVERSITY

【授業科目】



【ボランティア・インターンシップ】



市長等による実践的な授業

自治体経営論（吹田市長、池田市長）

公共政策コースでは、自治体トップである市長が、自治体経営について学生にご講義いただく「市長特別講座」を実施しています。令和5年度は、吹田市長、池田市長をお招きし、それぞれが展開する特徴ある政策の現状や課題、学生への期待や仕事への向き合い方等についてご講演いただきました。

吹田市の後藤市長からは、学生たちが事前学習を通して準備をした「市長の考え」「吹田市について」「政策・市政運営に関すること」「求められる人物像・就職活動について」の質問に対し、後藤市長よりお答えをいただきました。吹田市の特徴や政策のお話だけでなく、後藤市長の今までの経験、大切にしている「生き方」など大変貴重なお話をいただきました。講義の最後には、後藤市長より「本を読むこと・議論を避けないこと・旅に出ること」を学生時代に多く経験して欲しいと、メッセージをいただきました。

吹田市職員に内定した喜多村さん（4年）も講義に参加し、「昨年も後藤市長のお話を伺い、深く交流させていただいたことで視野が広がり、就職活動への熱が高まりました。しっかりと準備を重ねた結果、入学時から目標にしていた市役所職員の内定をいただくことができました。特に、面接の場面では『意思を固く持ち、自分の想いをぶつける』、つまり自分の言葉で話すことを意識しました。借り物の言葉では、必ずそれが相手に伝わって

しまうと考え、湧き出る想いを、自分の言葉で発することを大切にしてきました。民間企業との違いについて考えた際、市役所職員は『ありがとうを貰える仕事』であると考えています。後藤市長もお話されていた『自分がどう生きたいか』を大切にがんばって欲しいと思います」と後輩にアドバイスが伝えられました。

池田市の瀧澤市長からは、「これからの時代を生きるみなさんへ」というテーマで講義をいただきました。特に、瀧澤市長が市長に選出されるまでのキャリアやワークライフバランスのお話、市長選出後の池田市の事業や取り組み、特長について具体的な政策や今後の展開も含めてご説明いただきました。

講義の後半、学生たちはグループディスカッションの後、本日の講義で印象に残ったことの発表と、瀧澤市長への質問の時間をいただきました。学生からは、政策に対してや市長の考え方についてなど幅広い質問があり、瀧澤市長から丁寧に答えをいただきました。講義の最後には、瀧澤市長が実際に手帳に書かれ、大切にしている12の言葉をご紹介いただき、学生に対して「周りの方への感謝の気持ちを持ち、将来の事を考えていってほしいと思います。学生生活は貴重な時間。今しかできない事は、今のうちに挑戦してください」とメッセージをいただきました。



公共政策コースの実践

フードドライブ活動

住民自治を学ぶ授業の中で、東淀川区いたかの地域活動協議会を中心に同地域の老人会、婦人部、子ども会へのインタビュー調査を行いました。インタビュー調査を踏まえて、学生が地域課題解決のための事業を行いました。その中のひとつとして、地域一番の行事である盆踊りで、学生が地域住民を対象としたフードドライブ活動を行い、集まった食材を地域食堂に寄付しました。



買い物弱者調査

大阪市東淀川区社会福祉協議会、同区北部地域包括支援センターと共同で、井高野地区における高齢者の買い物弱者への施策を考えるためのアンケート調査を実施しました。アンケートは学生が高齢者へ直接聞き取る形式で収集しました。その後、集計結果のデータ分析を行い、報告書を提出しました。報告書の結果を通して、地区の買い物に対するニーズが分かり、現在は移動販売の取り組みが計画されています。



公共政策コースの学びとは

Q 公共政策コースの特徴は？

A ①経営学や経済学、法・行政・政策学など幅広く学ぶことができます。②フィールドワークなど、地域と交流しながら学ぶことができます。③定員40人の少人数で、教員の目が行き届く教育が受けられます。④大阪成蹊大学 公務員Passプログラムがあり、就職に向けた強力なキャリアサポートが受けられます。

Q 皆さん公務員を目指すの？

A 全ての学生ではありません。民間企業も多く、「地域を支える」建設・土木業、不動産業、「地域を活性化する」金融機関、「地域を育む」製造業やサービス業にも就職しています。

Q 大阪成蹊大学 公務員Passプログラムは皆さん受講するの？

A 必ずではありませんが、就職活動（例えば、SPI対策）にも役立つので多くの学生が受講しています。

Q 実践的な学びとはどのようなもの？

A 専門演習（いわゆる、ゼミ活動）などでは、地域が抱える課題に対して、フィールドワークやインタビュー調査、アンケート調査などを実施し、課題を分析したうえで、解決策を提案します。

Q フィールドワークは多いの？

A 全ての授業ではありませんが、授業単位やグループ、個人など様々なシチュエーションで実施しています。

Q グループワークが苦手です。

A はじめは苦手な学生も、様々な学生と取り組むことで、やり方のコツをつかむようになります。また、教員も進め方をレクチャーします。皆さん、徐々に慣れてきますので、大丈夫です。

Q WordやExcelがあまり使えません。

A 初年次教育「スタディスキルズ」や「上級生チューターによる学習相談」、また、アドバイザーの教員が、レクチャーや相談に乗ってくれるので大丈夫です。

大阪成蹊大学 公務員Passプログラム

公務員となって社会のために活躍したいと考える皆さんは、「公務員Passプログラム」で公務員試験に備えることができます。また、公共政策コースでは、地域の課題に直接触れ、その解決に向けて提案し、活動します。この学びは公務員となって地域のために活躍するための基礎となります。教員も全力でサポートします。

公務員試験も万全！3つのPoint

Point 1

東京リーガルマインド(LEC)と連携する特別プログラム

「準備」「特別対策」「直前対策」の3つのクールで合格を勝ち取る

LEC東京リーガルマインド

Point 2

さまざまな職種に対応

- 国家公務員・地方公務員をめざす
- 警察官をめざす
- 消防士をめざす
- 公益企業・団体職員をめざす

Point 3

時間・費用を節約

- ・通常の授業時間帯に学内で実施するので、時間を有効活用。
 - ・受講料は無料で教材の費用のみで受講可能。
- ※専門試験の対策が必要となる一部の職種については、特別価格で受講可能。

卒業生が語る！公共政策コースの学び

吹田市役所 内定

喜多村 航己さん

大阪府立
登美丘高等学校 出身



Q1 公共政策コースを選んだ理由を聞かせてください。

私は、市役所職員を目指していたため、①昼間の時間帯に、②1年から、③無料で受講できる「大阪成蹊公務員Passプログラム」が、また地域でさまざまな人と交流して研究を進めるフィールドワークもあり、大きな魅力を感じ、選びました。

Q2 吹田市を志望した動機は何ですか。また、合格に向けて公共政策コースでの学びはどのように役立ちましたか。

授業で吹田市長の講義を受講したことをきっかけに吹田市に関心を持ち、吹田市の政策や地域課題を学ぶ中で魅力を感じ、志望しました。大阪成蹊公務員Passプログラムでの講義や模擬試験、面接練習などに取り組み、合格につながりました。

Q3 社会人として、今後、どのように仕事に取り組みたいですか。意気込みを聞かせてください。

公共政策コースでは、学ぶことに貪欲であった私に、先生方が様々な経験の機会を提供してくださいました。就職してからも、学ぶことに貪欲な姿勢は変えずに日々精進していきます。

日本交通 内定

西村 香穂さん

大阪府立
吹田東高等学校 出身



Q1 公共政策コースを選んだ理由を聞かせてください。

私は、人々の暮らしを守り、より良くしたいと思い、少人数教育が魅力で、積極的に挑戦できる環境があると伺った公共政策コースを選びました。

Q2 日本交通株式会社を志望した動機は何ですか。また、内定に向けて公共政策コースでの学びはどのように役立ちましたか。

4年間の学びの中では、授業や学外コンテストを通して地域や社会には複雑な課題が絡み合っており、様々な視点から捉える必要性を実感しました。就職活動を進めていく中で、直接地域の方々と関わる機会が多く、新しい発想を大切に実行していく姿勢に魅力を感じ、日本交通株式会社への就職を決意しました。

Q3 社会人として、今後、どのように仕事に取り組みたいですか。意気込みを聞かせてください。

地域や社会に貢献できるように公共政策コースで学んだ経験を活かしていきたいです。

大阪府警 内定

辻本 寿幸さん

奈良県立
五條高等学校 出身



Q1 公共政策コースを選んだ理由を聞かせてください。

キャリアサポートとして公務員Passプログラムでの筆記試験対策や、武道の授業を通して柔道の初段を獲得できることが魅力で公共政策コースを選びました。

Q2 大阪府警を志望した動機は何ですか。また、合格に向けて公共政策コースでの学びはどのように役立ちましたか。

警察官になることは、子供のころからの夢でしたが、公共政策コースで学ぶ中で、様々な地域の住民の生活に触れ、そうした人々の幸せな日常を守りたいという気持ちがかんたん強くなりました。公共政策コースでは、地域社会を作る社会の担い手として企業だけにとどまらず、行政の方とも一緒に、地域課題の解決に向けた学習の中で、社会の理解とキャリア意識を深めました。

Q3 社会人として、今後、どのように仕事に取り組みたいですか。意気込みを聞かせてください。

地域の人々の幸せな日常を守るよう、日々の任務に取り組んでいきます。

近畿日本鉄道 内定

角田 眞志さん

京都府立
西乙訓高等学校 出身



Q1 公共政策コースを選んだ理由を聞かせてください。

私は、人と触れ合うことが好きで、かつ地域や社会貢献に繋がる職に就きたいと考えていました。そのような中、フィールドワークなど地域で様々な人と関わり合いながら学修できることに魅力を感じ、選びました。

Q2 近畿日本鉄道を志望した動機は何ですか。また、内定に向けて公共政策コースでの学びはどのように役立ちましたか。

地域ナンバーワンの路線網を持ち、様々な人と関わり合いながらプラスαの価値の創出と提供に重きを置いて取り組まれている近畿日本鉄道に惹かれ、志望しました。公共政策コースでは、授業内で地域の方々と接する機会を通じてコミュニケーション力が、また、様々な課外活動を通じて周囲を見る力が、それぞれ身に付き、就職活動でのグループワークや面接の場で活かされたと思います。

Q3 社会人として、今後、どのように仕事に取り組みたいですか。意気込みを聞かせてください。

公共政策コースで身につけたコミュニケーション力と周囲を見る力を活かし、様々な人と触れ合いながら、地域や社会に貢献する社会人として成長していきたいと考えています。

アクセス

- 阪急京都線「相川」駅 東改札口を出て徒歩約5分(約300m)
- JR京都線「吹田」駅からスクールバスで7分、「相川」駅降車 徒歩約5分(約300m)
- 大阪メトロ今里筋線「井高野」駅からスクールバスで5分

お問い合わせ先 大阪成蹊大学 経営学部 経営学科 公共政策コース

〒533-0007 大阪市東淀川区相川3-10-62
Tel:06-6829-2554 Fax:06-6829-2601
E-mail:nyu@osaka-seikei.ac.jp(広報統括本部)
https://univ.osaka-seikei.jp



大阪成蹊大学
OSAKA SEIKAI UNIVERSITY

コース紹介動画はコチラ！

